

1 本校の教育目標

知・徳・体の調和がとれ、たくましく生きぬく児童を育成する。

【めざす児童像】

- 強く……いのちを尊び、こころやからだを鍛え、たくましく生きる子
 - 正しく……自ら学び、深く考え、主体的に行動する子
 - きまりよく…礼節を重んじ、自らを律し、自他とともにこころ豊かな生活を築く子
- 合言葉 <元気で 仲よく 大好き 木西>

【めざす学校像】

- 児童・保護者・地域にとって、安全で安心できる学校
- 児童が「学校大好き」と感じる学校
- 心身ともに健康で、常に笑顔で協働できる教師が集う学校

2 経営方針

全職員が、共に学び合える高きに和する集団のもと、人間性豊かな児童の育成に努め、家庭・地域社会との連携を深め、信頼される学校づくりを推進し、ウェルビーイングの向上を図る。

- ・基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるとともに、個別最適な学びに関する学習指導法を研究し、主体的・対話的で深い学びの授業をめざす。
- ・集団生活を通して社会の一員としての自覚や人としての生き方について自覚を高め、自他の生命や人権を尊重する心を育む。
- ・健康教育の充実を図るとともに体力づくりの場を工夫し、望ましい生活習慣の定着を図る。また、事故を未然に防止する態度と能力を育成する。
- ・教員の指導力の向上を図るとともに、家庭・地域と協力して、開かれた学校づくりを推進する。

3 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の向上

- ・木曾川地区小中学校共通の学習ルール・マナーの指導をすすめ、学ぶ態度を身に付けさせる。
- ・「読む、書く、聞く、話す、計算する」などの基礎学力向上を図るため、ICT 機器を効果的に学習に生かす。
- ・人の意見や話を耳と目でしっかりと聞き、進んで自分の考えや思いを伝えることができる児童を育てる。
- ・個別の課題に対して前向きに取り組み、できる喜びを味わわせるとともに、さらに新しい課題を見つけ主体的に学ぶ態度を養う。
- ・教科担任制の導入により授業の質の向上、および複数教師による多面的な児童理解を図る。
- ・発達や障害に対する教員の理解を深め、個に応じた指導の充実を図る。

イ 豊かな心の育成

- ・道徳教育、人権教育の充実を努め、「思いやりの心」や「生命尊重」、「規範意識」を高める。
- ・地域での学習や体験を通して、日本の文化・伝統・歴史、諸外国の文化等に対する理解を深める。
- ・いじめ防止をめざした児童の主体的な活動を活性化し、いじめの未然防止に努める。
- ・キャリア教育（生き方教育）の充実を図り、未来へ希望をもち、主体的に生きる力を育てる。
- ・潤いのある温かく美しい教育環境づくりに努める。

ウ 健やかな体の育成

- ・自分の体力に関心を持ち、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送るための基盤を培い、運動の習慣化を図る。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の指導や食に関する指導を充実させることによって、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ・交通安全指導、避難訓練、危険予知トレーニング等の安全教育を充実して、自ら安全に行動できる態度や習慣を育てる。

エ 信頼される学校づくり

- ・学校評価や行事後のアンケートを有効活用して、学校改善に努める。
- ・コミュニティ・スクールの推進を図り、小中連携し、9年間を見通した教育に取り組む。
- ・学校の取り組みについて家庭や地域への情報発信の充実を努める。
- ・働き方改革にかかる業務改善に努め、子どもたちと向き合う時間の確保に努める。